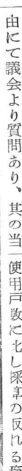


水道問題

津町が小田原市に合併となり、此

(写真は急ピッチで完工を急ぐ原田橋)



ります。詳細は役場税務課にて

台業一
木憩
中昼
木和

感想文について

本年は予て町の広報を通して申し述べました通り「成人の日を迎えた」という題で達達の皆様へ呼びかけ、成人に達した抱負や感想を集めました。ところ、日常生活の忙しの中から十数篇の応募を頂きました。私は、入賞の五篇を此処に登載いたします。

然し委員自身の感想思想の乏しきです。

本年の成人式に計画致しました果敢の音楽演奏は先方の都合で中止されましたが次の機会には是非お願いしたいと存じています。

二宮町教育委員会

西山景司

生を美しむ。目標にすることこそ、人生の究極の目的であり眞の幸福であり、換言すれば社会に奉仕することにも、得るのです。我々青年はこの愛と同時に責任を感ずべきだ。次を背負う我々青年が人間の為に成長し完成して行くかは日本の、否世界の、更には人類の盛衰に影響する。今や人連の「ICBM」や「人工衛生の打ち上げ成功」が示す如き現代科学の驚異的進歩・発展に対して我々の精神が大切なのだ。我々の前途に如何なる困難が横たわっているとも、前にも述べた如く我々青年こそが次の責任者であり、適任者でもあるということを考えて、人生と社会の流波に挑戦すべく敢えて努力を、惜まらず振ぬうではいけないか。愛なき人生は暗黒な、冷たい社会は墮落した。これは正に至言である。我々後輩と社会人の為に己己の最善を尽し、お互に

世の爲の爲に盡すことは、それ
どんなに行ふべき事であつても積
極的に行動すること。要するに社
会を構成する一員として自己の利
益だけを考へない人とならうと努
力すること。それは己が己により
よき社会に貢献し得るの教養を身
につけ社会に貢献し得る専門的技
術を身に付けることが必要です。
そしてその上で自分自身の行動が
果して「世の爲の爲」のものとし
て恥ぢかしくないかを反省して
進むことが切に思います。

しかし我がの社会生活に於いて
は個人差や能力差が生ずるのは自
然の法則であり、自己の希望通り
に振舞ふない場合が往々にして
ある。この場合に當つては各人が
自己の長所を活かしてそれに精進
することこそ社会の推進力の糧と
なるものである。従つて我々は一
生を通じて、一つの目的を立て、
それに向かつて最大の努力を拂う
必要がある。人の一生は努力とた
いかい仕方如何によつては極め
て著し疎しきものになることは
疑念なく眞理であるからだ。未
だ青年の世にあるから、

「人生は航路の如きなり
である。」とは青く人に贈られた
ことではあるが、順たはだ我々の
の人生行路に於ける船は幾多の暗
礁に乗り上げて、青年の夢と希望
が破壊されきつた。しかし我々が
時代の苦い経験を基にして我々青
年時代に我々の理想とする家庭
社会・世界を築くことが人生の最
大の企圖ではなからうか。我々青
年の心の奥底にはこれらに困難に
堪へ得る勇氣と氣力が潜在してゐ
るこれらの困難に對してこの勇氣
を發揮出来るのは青年の特長であ
り、それ故我々は自己の考えや想
を堂々と發表すべきだ。恐怖な
んてものは青年の社会から抹殺し
たいものである。

「努力せずんば成を得ず」
という格言は私私裏に深く焼き
つけられてゐる。世間を風船の如
く飄々と考えてゐる人達にはこの
語の教へは、服の襟元に佩するの
ではなからうか？ 拂われた努力
や犠牲が大であらばある程それら
に対する報酬も喜ば深く感じ取
れるのだ。我々は

Stonewashed

西	江	脇	吉	西
山	端	松	田	山
惠	弘	雄	幸	景
美	忠		子	司
子				
(山西九三番地)	(山西二九五番地)	(山西七七六番地)	(二宮六九四番地)	(山西九四〇番地)

成人式を迎えて

不屈の剛志をもつて、今日を樂にきてきた。徒らに自惚れるのではないが、我々日本人の資質に自信と誇りをもち、世界に伍して決して脱落するものではないことを知らねばならない。

日本国のあらゆる方面にその進展を見るが、世界勢勢のソ連とユージュ、英佛に對するエジプトの運河固有化、オランダに對するインドネシア事件等は、戦争にも發展すべき性質のもので

今や世界は科學の素晴しい進歩により人類の致達し得る境地は想像も及ばぬ。しかしいつ實現するか知れぬことよりも、身近かな、小さくより急務なことが多い。月世界、宇宙云々……

……よりも、社會保障のように納得のいく安心を与えてもたらぬならば、安心して労働出來、他人に東講されず日常の平凡な生活流行の衣裝なく、質素な食卓と安定感の中に毎日を送る生活

うなものだ。

よく欲求不満から来る逃避型、攻撃型犯罪と若い世代を批判して云う。しかし、我々の周囲には虚無と全ゆる物質が必要以上に多すぎる。それで一体何が不足か、足りないのは物でない。直に物がそれ程乏しいから我々は乏しいことを意識しなかに違ひない。求めることのみを欲で、物を生活の上で活かすことを知らぬところからの

あるが、二大対立と共に小国の立場が強くなつた。現代なればの現象である。

これと同様、個人においては、人権の確立であり尊重である。これは憲法により保障され、永久の權利とされているが、現在の犯罪等とみられて、自ら人間の尊厳性を否定し、ヒューマニテイへの欠陥だけでなく、子供に大人の惡行を与えたとの言葉を笑うことは出来なさとする。

この異常さは、一般の風潮と断じきれないが、人権と同時に責任の重大さを名ぜりば良識をもつて行動しなければならぬ。

成人式を迎え、社会人として認められる前に人間性の洗礼を受けること。自己・世間・物事の正しい關係を見つづ、それを共有し、追求する。その意氣、情熱は永久に變らないが、向上を目ざす時代の青翠の姿は常に新しい、これに対し先輩の功績

が出来るのだ。

よく年頭に思ふ、何かの形で幸福に又は、今年こそ良い年であるようにと、これは私達の生活があまりにも不安定であり、よりどころなく、悲しみ、悩みの中に低迷していく証拠だ。活動力みなぎり感受性と吸取力の豊かな若い月を生活の改善に向けたら何と生きがいを感じるだらう。一定の目的もなく、ただ漠然と過すのはもつけない限りだ。現代の集團教育を受けた我々は、個性とか自我に対する考え方に弱く、樂天的否、物事に対して、一定の考えを有つてゐるのもあやしい。その考えと行動とが短い視線でつながれているように、刺激に対し誘惑さそれやすぐ頹廢的なものに興味をもつ、それで、経験も浅く人生の一端を云々することは冒険だ

が知識としてのそれならば許されてよいだらう。

欲みである時、先ず生活態度を反省する必要がある。物に奉仕するのを止めて自分の生き方をもち、物の世界に臨むとすれば、そこに何とゆう生活の豊かさがあるだろう。必要以上に物質に不足しないにしても、高い文化人として生きるには、形の上ではあまりにも貧しいかも知れない。しかし生活の外観の貧しさの問題にする前に、自分の心の貧しさを問題にするべきだ、生活の主体はいづも、我々自身であり、住宅、家具、美術品ではない。我々が豊かに生きるところにどうして生活が豊かでないところが出来よう。

生活を生活してみないで、どんな生活も自分の生活と云えないが、生活を愛することの導き、鍛しさを、自らの英智と理性で処置出来る人間になりたいものだ。

× × × × ×

吉田幸子

みてでなく世間一般の子供たちのための仕事に没頭出来るような母親として生きることが誓いたいと思っています。

これは女と生れば、だれしもが願う平凡なことです。

それでないですね、お母さん、私がでないの意を受け継いで、あなた以上の母親として生き、そしてあなたの孫が娘以上にすぐれた母親としてつくせば、もうそれで社会の進歩、日本の進歩だと思ふあなた、そして大人としての先輩の皆様。どうか新参の私たちに

新憲法の公布にひきつづいて昭和二十二年、米國で一新しい教育方針が定まり、それに従つてゐたちはあなたがたに異つた學校教育を受けるようになりました。

戰後派——特に私たちと同じ令層はとりわけジャナリナリズムがせてきだによですわね、それ戰後派はこゝだ、と言はんばつりにたいがい良い面は捨て、悪い面のみを祖上にのせてあつちつちからつゞく。

私たちは、ほとんど修身といものを教わらずに育つてきまし。ですから、お年寄は「わしたの時代はこうじゃなかつた」と徳教育復活云々などと世間をにやめ、教師の教育が悪い、手ぬい、と學校教育の方にホコ先を

江端弘忠

成人になつて

あなたの方、そして大人としての先輩の皆様。どうか新参の私たちに期待していただきたい。

合	る	道	ち	た	う	と	愚	か	て
わ	け	て	は	な	ら	ず	に	あ	ら
合	わ	せ	て	朝	日	向	つ	て	礼
拜	し	た							

明くれば昭和三十三年、西暦一九五八年の朝がやつて来た。遙か水平線、彼方にぼんやりと黄金色の光が差し始めたと思ふや、地上を覆う夜の帳の果てに追いつける如く数秒、キラ矢が走った。

そして神々の、新年の大太陽が昇り始めて、新春の太平洋は鏡の如く滑らかに朝の光を射て、キラキラと輝いた。私は思わず両手を合わせて朝日に向つて礼拝した。

遠からず親となる日ややつて来た時、又、年を越てやがて社会の時、中堅の位置にある時、私たちはあんな方からひきこたひした点、なべてを根とし、幹として、その上へ枝を伸ばし、葉を繁らせて見ねばなりません。私たちの努力の結晶は冷たなりすの实となることも夢ではなりと思ひます。

……それからもう一つ……

実業家の父として有名な故小村一三氏の言葉。「私は社員に絶対を課するな、と言ひ渡してゐる。十五分余裕をもつて家を出て来れば、どんな事故があろうともなからぬ方法で出勤時間に間に合はせよう。これに限らず、課料を……」

氏の記事を読んだのは中学生
 時でしたが、会合があつても時
 通出席しない大人達には痛烈
 と批判があると愉快に感じ、又
 の人生觀を感服したことを覚え
 います。
 人生に選れを要するような人間
 はありませんまい。どんな小さい
 ことでも、要するに社会を
 成する一員として恥じぬ、自分
 ためだけの事を考えない人間になら
 と、眞剣に眞面目に努力しな
 私たちには、あなた方や社会
 ひいては民族の期待に應る義
 があるのですから。

成人になつて』

江端 弘 忠

どうか良い年であります様に
心の底から喜ばな一分に浸ると
時に、何からし諷刺とした元氣
湧いて来たら。

そうだ、今年から一成人として
年が始まつたのだ。想えばアツ
言う間の様に感ずるし、又苦
い永い山道を幾つとなく越えて
た様に思ふ。

・私が小学校に入學した七才の
は太平洋戦争の真中で、学校



又 公選法才九条「日本國民で満二十年以上の者は衆議院議員の選挙権を有する」

若し時代の者が重要な役割を演ずる。世間では大人達が互にいがみ合つて居てもその子供達は平氣で遊んでゐる。同様に世界に於

法律で定められた如く、成年に達した我々に果せられた才の使命は參政權という重要な使命なのだ。一國の政治というものはその國全体の經濟、社会全般に渡つてこれを統治する故に、施行の良否が直に我々國民の生活に重大な影響を及ぼす。従つて我々は恰も此の立場で、考へて、研究し合つて參与する事が必要である。今に現實社会は、全國民等しく網得の行く政治が行われているから、非常に疑問に思われる。汚職處を、派代を管轄する我々、更に視て是正して行く任務がある。更に視野を広めて全世界の中の日本として見るに、戦争によつて多大の財産と、それに勝る信用を無くしてしまつた日本では、用を無くして来た日本では、我々の持つ優秀な技術と、多大な労働力とを以て諸外国と互に手を結んで行つたなら必ずや汚名も返上されるのである。もはや戦後十数年も経るのであるから、今までの様なアメリカ一点張りの政策からとめて多くの諸外国とも交歓し、

受けて理想に向つて邁進しよう。

成人の日記
感想文

西山惠美子

「一月十五日成人の日」 私達が大人になつたことを自覚し、又一社会人として認められた今日この喜びは言葉でいゝ表わすことの出来なない程です。

今は、こゝに私達が成人の日を目前で迎へることの出来たことその他には、両親、先生、そして、町の皆さんの暖かい愛情とで努力のたまものなのです。そして、今は感謝の氣持でいづばいいです。でもこれから先の歩んで行く道のけしき、責任の重大さを考えた、思わず肩に重荷がかつたような氣がしました。でも負けてはいけなない、やるのだ、そしてがんばるのだ。これらの言葉を強く心に誓ひ、一歩／＼完全な自分になりたと思う。それは、まずオ一に自分の日常生活を正しくすると共に、生活の中にいつと笑顔であらいたいこと、謙讓の美を自分から欠いてはならないことなどとして力いづばい働き一社会人として遅れないような私達でありたい。それには、先に書きましたような笑顔と謙讓の美を忘れてはならない。

笑顔であるということは、健康であると言ふ証據でもあり、又笑ひなしでは明るい社会は生まれなないであらう。そして又、謙讓の美を人／＼が欠いてしまつた時は、やりと／＼の生活は出来ないのだ。だからこの二つは私達の心から切りはなすことは出来ないのだ。これら心身の修練にはげみ、目から強く生き抜くこと。そして、公民としての義務を正しく守るのだ。成人の日のスタートとして私の抱負は生れて、不幸な病気、例えば小兒マヒ、その他の病いで知恵や発育の遅れた子供達の多い現在、早く言えば精神薄弱兒を何んとかして一日も早く明るい日にくるよう努力してゆきたいと思ふ。せめてこの子供が生まれて来たことの喜びを知ることの出来る範圍でよい。そしてこの子供達を育て、いゝ親のなやみ苦しきを知つた時、私は涙が溢るやうになることも度々あるのだ。こんな時、いつも自分のことの様に身を切られる思いがする。何んとかして辛薄く生れた子供達をすくつて上げたいと思ふ。「と」私が考えたところ

だのですが、やはり知能の働きの体の發育も遅れて学校にもゆけず、いつてこの子供達を預かつて教えてくれるこの少い現在の社会、そこで学ぶことも迷つてしまつた今、これから先、ぼろ／＼置いたらどうなつてしまふのぞうと思ふ時、少しでもいいから喜こんでまあと思ひ、自分の仕事の間を見ては、小さな自分から一つ／＼教えてあげないようでしたが、この頃では喜こんだ私のように来る様になつてくさ。少しづつでも物な分つてくると、とても嬉しうな顔をしてみようと、こんな時、私は自分ひとりの様にうれしくたまらないのだ。たと自分の現在生活があまり忙しうも忙がしすぎるために、毎日教へ上げられないのが残念でたまふ。

私の希望としては、このやうに辛薄く生れた多くの子供達に、一日も早く喜びの来る日を祈りつゝ、私の成人の日の感想文を終らていただきます。

× × ×

町では吾妻（「腹直」）委員
にも、その基本となる世帯員
の就業状態、経営する土地、農地
の利用状況などを調査しようとする
ものであります。

調査の方法としては昭和三十三年
一月二十九日から三十一日までの
間に知事が任命した調査員が皆
様の宅を訪問し、名簿を作成し
ます。お宅を訪問し、五日までの
間に再度訪問し、基本調査の事
項をいろいろお尋ねいたしますか